

船越 俊幸

協創のしろ

3病院連携法人と行政の役割

問 地域医療・介護は、市民の暮らしと命に直結する重要な政策課題である。今回設立された3病院による地域医療連携推進法人を、市の地域医療・介護政策にどう位置付け、支援していくのか。

答 当地域において、人口減少や患者数減少、医療人材の確保等の課題がある中、市内3病院による地域医療連携推進法人の設立は、持続可能な医療提供体制のため、重要な取組であると捉えている。同法人の取組は、今後具体化してくるものと考えており、同法人や関係機関等と連携しながら状況に応じて必要な支援を検討していく。

しらかみ看護学院の充実に向けた支援を

問 秋田しらかみ看護学院は、地域で看護師を育て、地域の医療・介護を支える大切な社会基盤である。近年の入学者減少を地域課題として捉え、市として学院の充実をどう支えるか。

答 少子化等の影響で入学者数が大幅に減少しており、強い危機感を抱いている。同学院は、地域の医療・福祉・介護を支える人材の育成に重要な役割を果たしていると認識している。まずは、学生の確保に向けた取組を連携して進めるとともに、関係機関や山本郡3町と連携しながら、補助金を含めた支援の在り方について検討していく。

畠 貞一郎

市民ネットワーク
(大河の会・能代民政会・市民の風)

マーケティング戦略とは

問 県で行っているマーケティング戦略を市でも取り入れるとのことだが、マーケティング戦略とは、具体的にどのようなことか。

答 県では、施策の企画立案や実施に当たり、外部人材の知見を活用しながら、ターゲット層の詳細な分析や効果的なプロモーション等、マーケティング手法の導入を推進することとしている。市としても人口減少対策のほか、観光や農林業等の各種施策を効果的に展開するため、県と連携したマーケティング戦略の在り方を研究していく。

柳町商店街のアーケード

問 柳町商店街のアーケードは6月定例会にも補修費が計上されているが、抜本的解決にはならない。最終的に解体か補修か2択が迫られるものと考えているが、市の考えは。

答 柳町商店街振興組合から、理事会で協議し将来的にはアーケードを撤去するとの結論に至ったと報告を受けている。アーケードについては原則として組合が責任を負うものと考えているが、撤去には多額の費用を要することが想定され、組合単独での対応は難しいと認識している。国・県とも相談しながら支援の在り方について検討していきたい。

その他の質問事項

- イオン能代店の存続
- 駅前ホテルの状況
- エネルギーのまち

成田 和彦

協創のしろ

薬剤師確保対策

問 能代山本地区における病院薬剤師の偏在指標0.5という深刻な状況と、市独自の奨学金制度創設を含む薬剤師確保対策について伺う。

答 市民が安心して暮らせるまちづくりを推進する上で、薬剤師を含めた医療従事者の確保は重要であると認識している。薬剤師確保対策については、県等の各種事業に協力するとともに、どのような対策ができるか調査研究していく。また、各種団体や市で様々な支援を行っていることから、薬剤師確保に特化した奨学金制度の創設は考えていない。

病児保育事業の拡充

問 令和6年度病児保育利用お断りは137件。これは子育て世代の就労継続の障壁であり、医療・介護人材確保の観点から定員拡充・無償化、そして病児保育空白地である二ツ井地域への整備を求める。

答 病児保育は感染症流行期により利用実績の変動が大きく、設備や人員配置の課題もあるため、定員拡充は難しいと考えている。運営支援は市独自に最低保障を導入し補助しており、現行制度を継続する考えである。利用料無償化は世帯間の公平性の観点から難しいと考えている。二ツ井地域への設置は出生数や財政状況を見極めながら検討していきたい。

その他の質問事項

- AIを活用した熊被害対策
- 果樹被害の多い種梅を実証フィールドに
- 消防・市職員を含む担い手育成